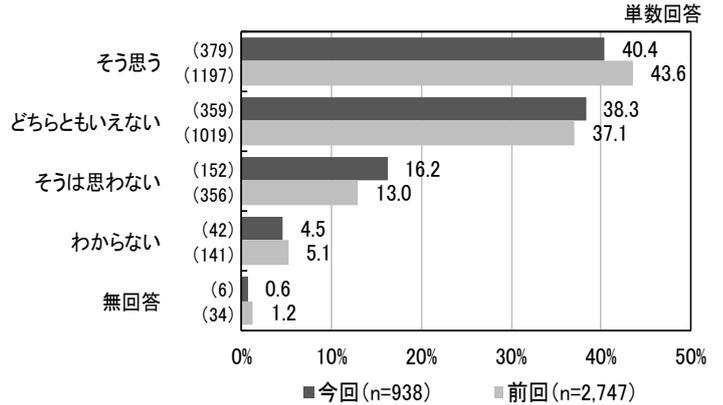


人権意識調査報告書概要版

調査の内容	
● 調査対象者	18歳以上の北足立郡内(13市1町)に在住する市町民
● 対象人数	2,700人
● 抽出方法	層化無作為抽出方法
● 調査方法	郵送配布・回収、無記名回答
● 調査期間	令和元年10月1日～10月31日(前回調査は平成27年に実施)
● 回収結果	回収数 938件 回収率 34.7%
● 市町別抽出数	200件 川口市、草加市、蕨市、戸田市、鴻巣市、上尾市、桶川市 100件 北本市、さいたま市 朝霞市、志木市、和光市、新座市 伊奈町

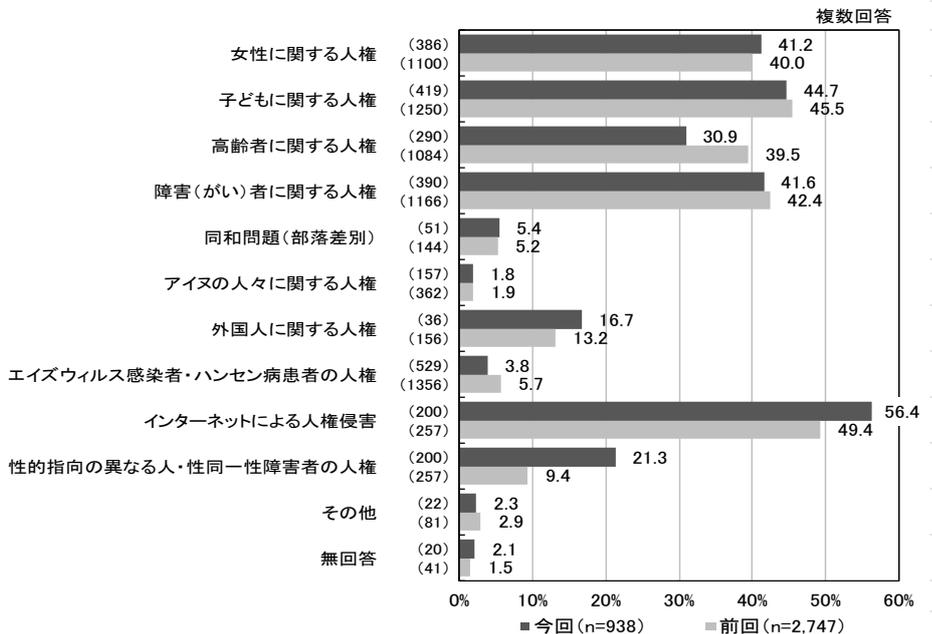
◆ 今の日本は、基本的人権が尊重されている社会であると思われますか。(〇は1つ)

「そう思う」が40.4%で、「そうは思わない」の16.2%を大きく上回っており、「どちらともいえない」が38.3%となっている。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



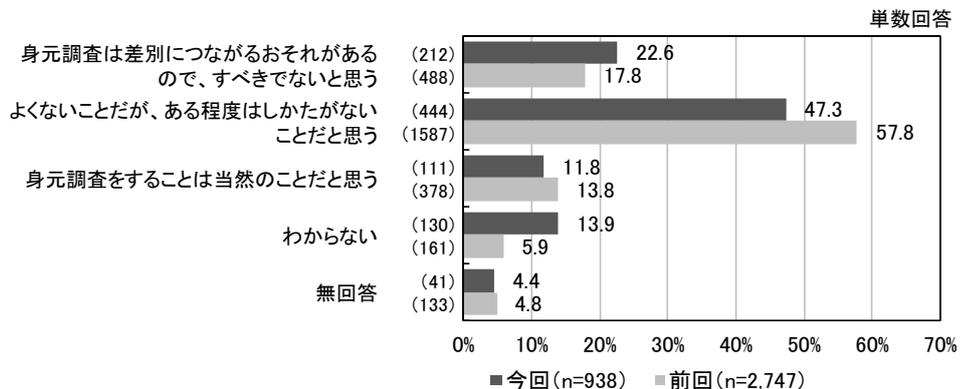
◆ 日本の社会には、人権にかかわるいろいろな問題がありますが、あなたが特に関心をお持ちのものをあげてください。(〇は3つまで)

「インターネットによる人権侵害」が56.4%で最も高く、次いで「子どもに関する人権」が44.7%、「障害(がい)者に関する人権」が41.6%と続いている。前回調査と比較すると、「性的指向の異なる人・性同一性障害者の人権」が11.9ポイント増加、「インターネットによる人権侵害」が7.0ポイント増加、「高齢者に関する人権」が8.6ポイント減少している。



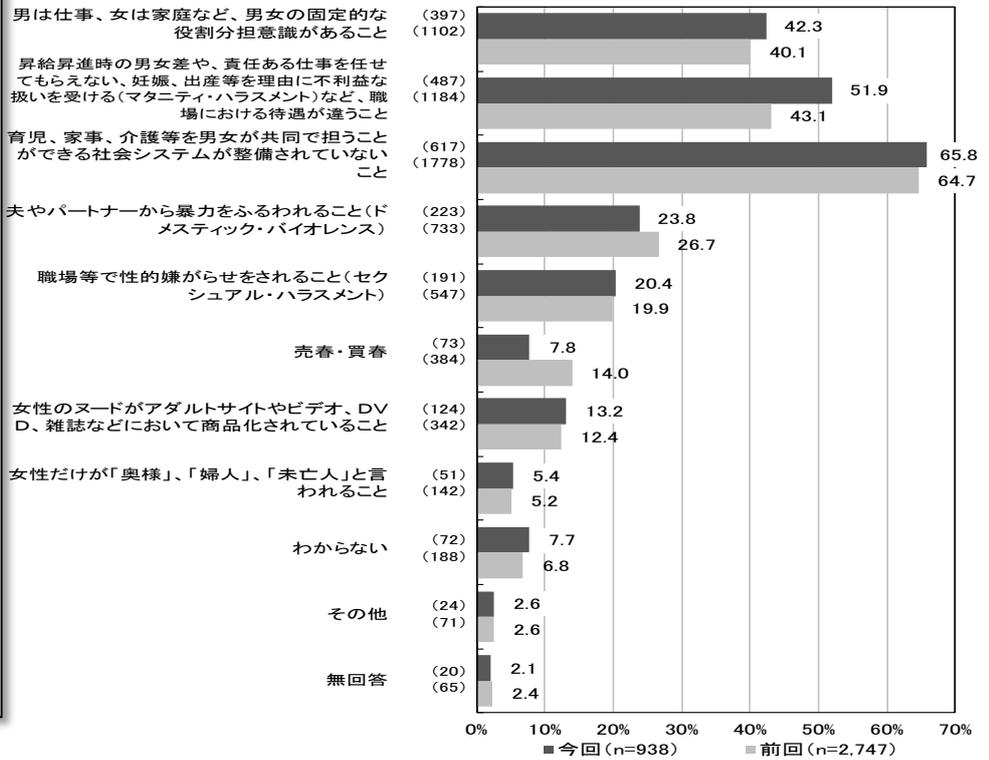
◆ あなたは、結婚や就職時の身元調査について、どのようにお考えですか。(〇は1つ)

「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が57.8%で最も高く、次いで「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う」が17.8%と続いている。



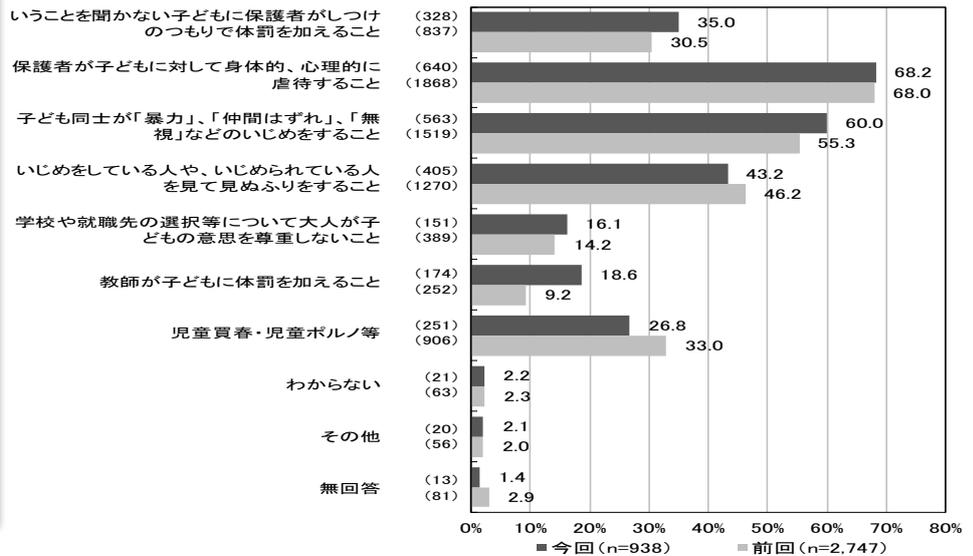
◆ 女性に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（○は3つまで）

「育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと」が65.8%で最も高く、次いで「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場における待遇が違うこと」が51.9%、「男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識があること」が42.3%と続いている。前回調査と比較すると、「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場における待遇が違うこと」が8.8ポイント増加、「売春・買春」が6.2ポイント減少している。



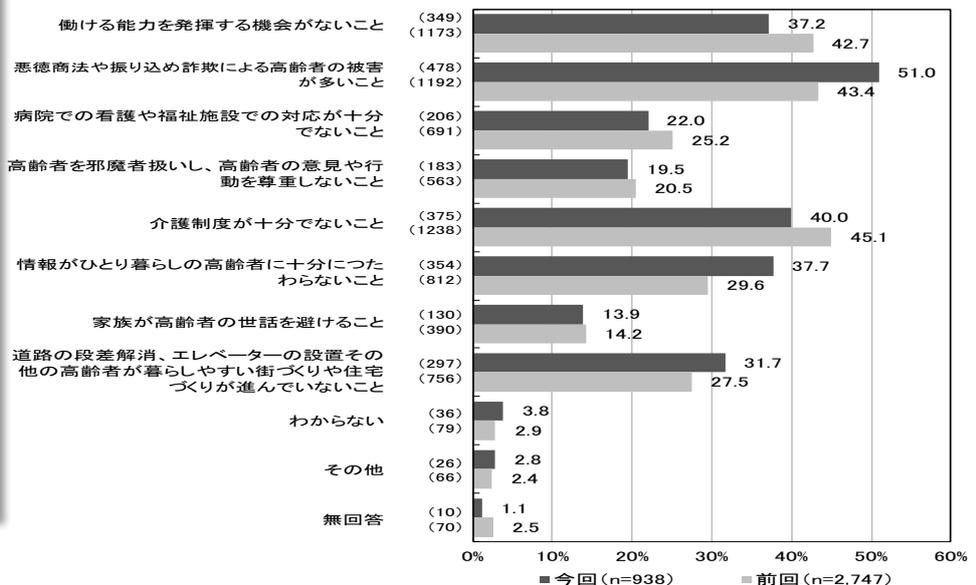
◆ 子どもに関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（○は3つまで）

「保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること」が68.2%で最も高く、次いで「子ども同士が「暴力」、「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをすること」が60.0%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをすること」が46.2%と続いている。前回調査と比較すると、「教師が子どもに体罰を加えること」が9.4ポイント増加、「児童買春・児童ポルノ等」が6.2ポイント減少している。



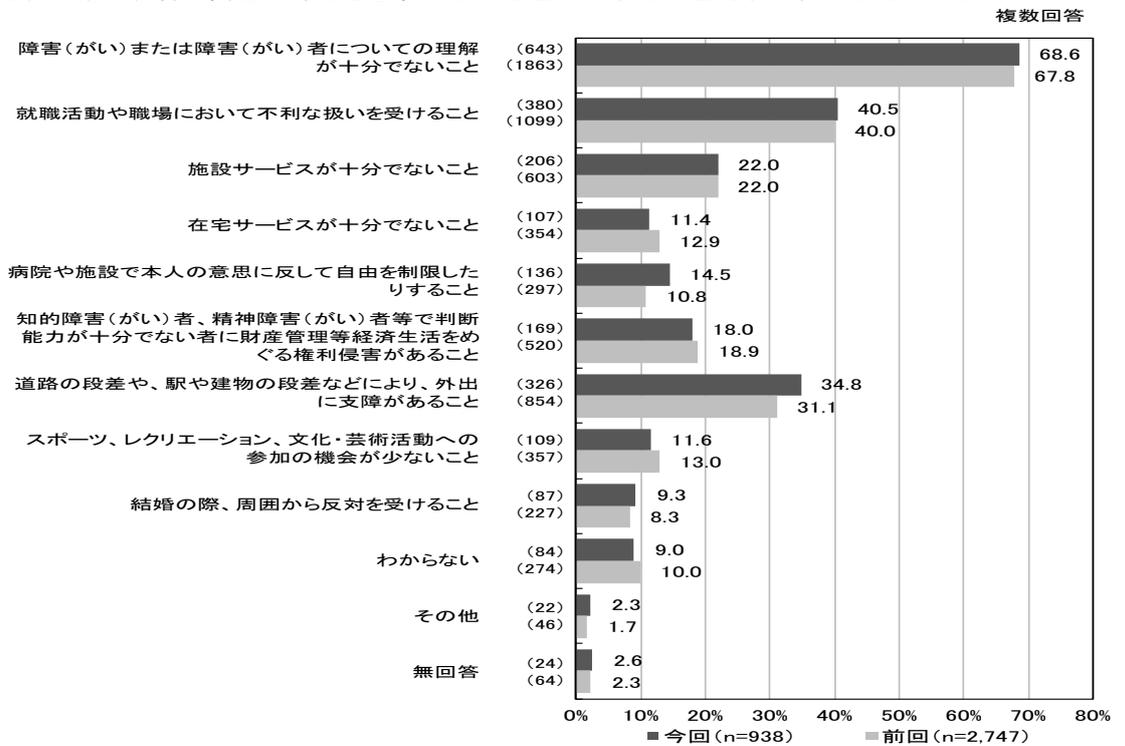
◆ 高齢者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（○は3つまで）

「悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと」が51.0%で最も高く、次いで「介護制度が十分でないこと」が40.0%、「情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと」が37.7%と続いている。前回調査と比較すると、「情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと」が8.1ポイント増加、「悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと」が7.6ポイント増加、「働ける能力を発揮する機会がないこと」が5.5ポイント減少している。



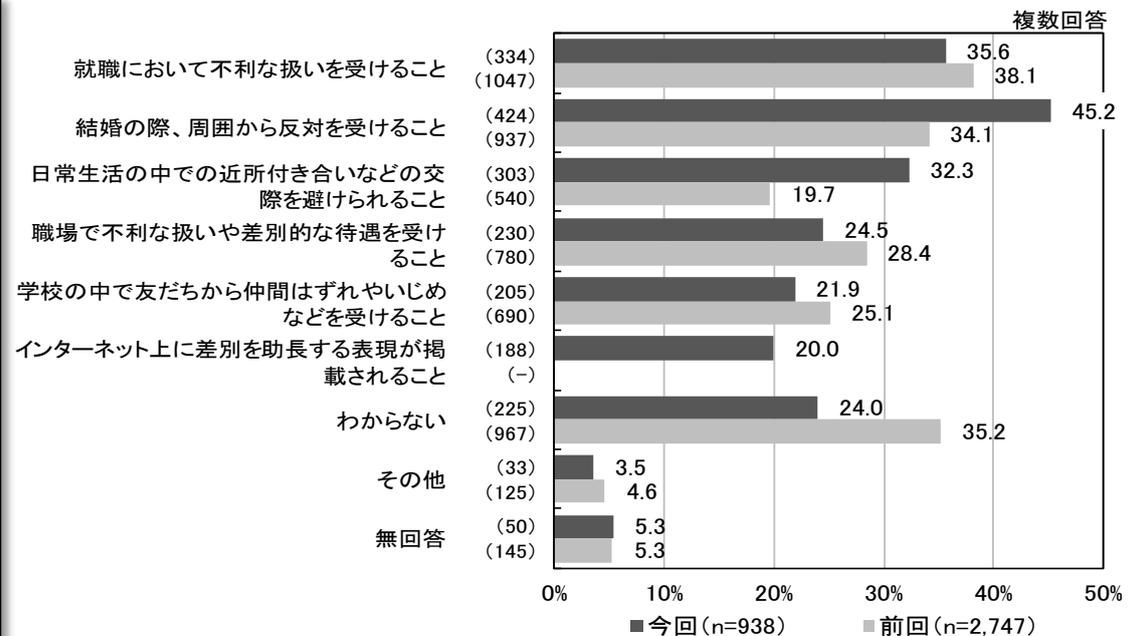
◆ 障がい者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

「障害(がい)または障害(がい)者についての理解が十分でないこと」が68.6%で最も高く、次いで「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が40.5%、「道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること」が34.8%と続いている。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



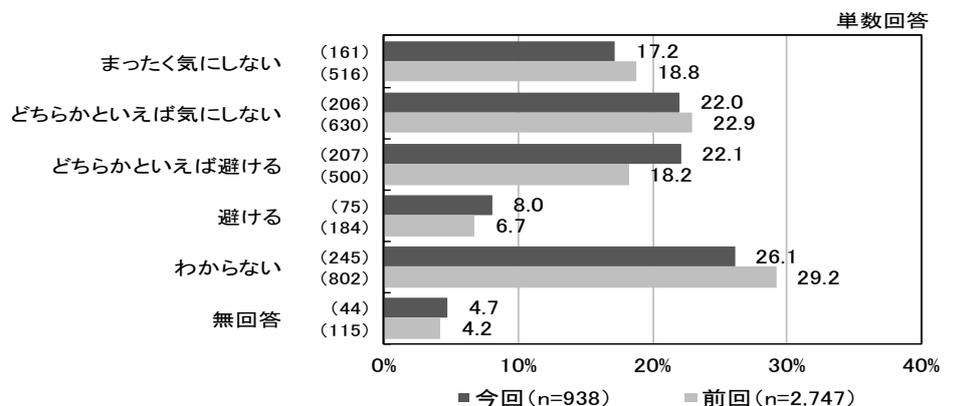
◆ 同和問題に関する事柄で、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

「結婚の際、周囲から反対を受けること」が45.2%で最も高く、次いで「就職において不利な扱いを受けること」が35.6%、「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」が32.3%と続いている。前回調査と比較すると、「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」が12.6ポイント増加、「結婚の際、周囲から反対を受けること」が11.1ポイント増加、「わからない」が11.2ポイント減少している。



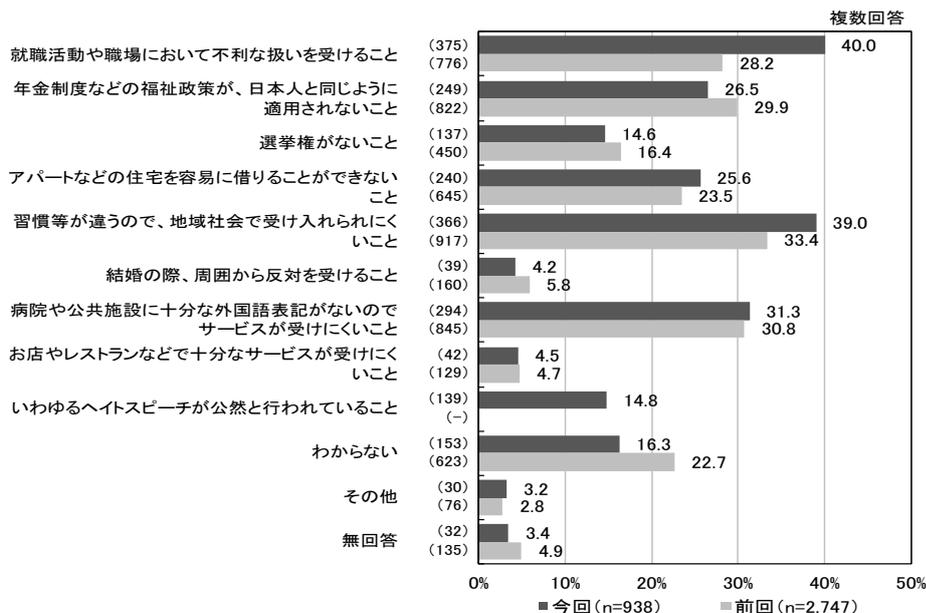
◆ あなたは、住宅や生活環境を選ぶ際に、同和地区であった場合、避けることがあると思われませんか。(〇は1つ)

「わからない」が26.1%で最も高く、次いで「どちらかといえば避ける」が22.1%、「どちらかといえば気にならない」が22.0%と続いている。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



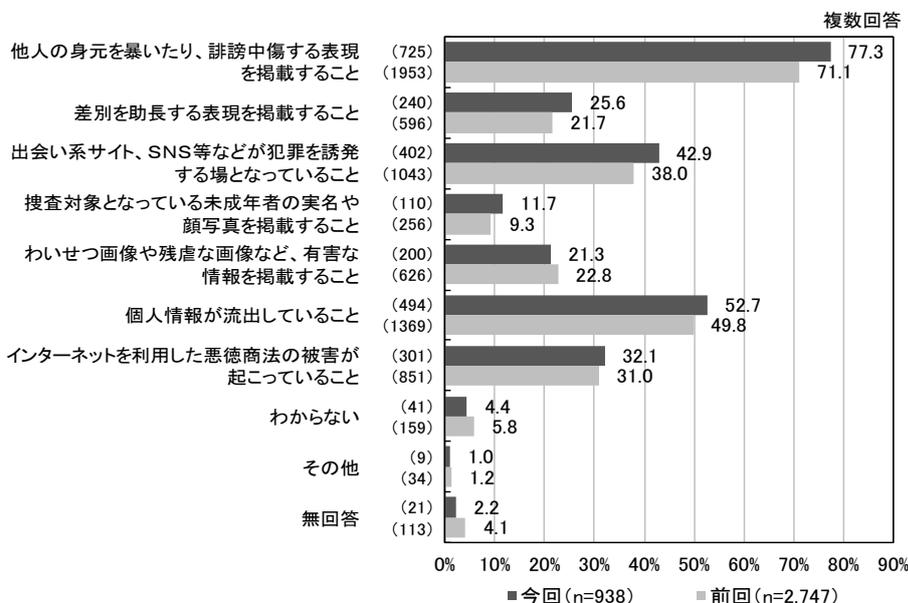
◆ 日本に居住している外国人に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（〇は3つまで）

「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が40.0%で最も高く、次いで「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」が39.0%、「病院や公共施設に十分な外国語表記がないのでサービスが受けにくいこと」が31.3%と続いている。前回調査と比較すると、「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が11.8ポイント増加、「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」が5.6ポイント増加、「わからない」が6.4ポイント減少している。



◆ インターネットに関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（〇は3つまで）

「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が77.3%で最も高く、次いで「個人情報が流出していること」が52.7%、「出会い系サイト、SNS等などが犯罪を誘発する場となっていること」が42.9%と続いている。前回調査と比較すると、「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が6.2ポイント増加している。



◆ 今後、市町が人権問題の解決に向けて、取り組むべきことについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。（〇は3つまで）

「社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実」が42.0%で最も高く、次いで「人権侵害を受けた人を救済する制度の充実」が41.6%、「学校における人権教育の推進」が39.0%と続いている。前回調査と比較すると、「学校における人権教育の推進」が5.3ポイント増加、「幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進」が5.2ポイント増加している。

